

国道49号 平バイパス ~全線供用に向けて加速~
五郎内トンネル貫通式のお知らせ
平バイパス最後のトンネルが貫通

国道49号平バイパスは、いわき市内の交通混雑の緩和や常磐自動車道いわき中央ICへのアクセス機能強化を目的に昭和56年に事業着手し、平成7年の全線2車線での暫定供用を経て、現在、平成28年度に全線4車線開通に向けて工事を進めております。

この度、平バイパスの最後のトンネル工事となる五郎内トンネル(延長374m)の貫通式が執り行われることとなりましたのでお知らせします。

貫通式では、いわき市長をはじめ来賓者の通り初めを行うほか、御厩小学校2年生による「花みこし」「よさこい」、「群読」、中山こどもじゃんがらによる「じゃんがら念仏踊り」のお祝い披露を行う予定です。

- 日 時：平成28年2月15日(月) 10:00から
- 場 所：福島県いわき市内郷地内【別紙1参照】
(五郎内トンネル坑内)
- 主 催：株式会社竹中土木 東北支店
- 式典内容：貫通掘削、貫通点清めの儀、貫通点通初め、ほか【別紙2参照】
- その他：
 - オープニングセレモニーとして、御厩小学校2年生による「花みこし」「よさこい」「群読」、中山こどもじゃんがらによる「じゃんがら念仏踊り」を実施します(10時から)
 - 当日、御厩小学校2年生の皆さんに寄せ書きをしていただいたトンネルの防水シートの設置状況をご覧いただけます。

発表記者會等：いわき記者会、いわき記者クラブ、いわき市ふるさと発信課

問い合わせ先

【式典や施工内容に関すること】	【事業に関すること】
株式会社竹中土木 国道49号上荒川地区トンネル工事 現場事務所 電話 0246-84-7978 監理技術者 桑原 誠	国土交通省 東北地方整備局 磐城国道事務所 0246-23-2211(代表) 副所長 千葉 富彦 (内線204) 工務課長 岩淵 誠 (内線411)

国道49号 平バイパス 五郎内トンネル貫通式典 会場案内図



国道49号下り線から工事用出入口へ左折
(五郎内トンネルを出て約150m)



五郎内トンネル 貫通式

日時：平成28年2月15日（月）
10時00分～

会場：福島県いわき市内郷地内
五郎内トンネル坑内

主催：株式会社竹中土木東北支店

次 第

オープニングセレモニー

御厩小学校2年生による「花みこし」「よさこい」「群読」
中山こどもじゃんがらによる「じゃんがら念仏踊り」

- 一、 開式の辞
- 一、 貫通掘削開始
- 一、 貫通報告
- 一、 貫通点清めの儀
- 一、 貫通点通初め
- 一、 発注者挨拶
- 一、 来賓挨拶
- 一、 施工者挨拶
- 一、 樽神輿入場
- 一、 鏡開き
- 一、 乾 杯
- 一、 記念撮影
- 一、 万歳三唱
- 一、 閉式の辞

平バイパスの事業概要

一般国道49号は、福島県いわき市から新潟県新潟市を結び、広域交流や沿道市町村の連携強化を支える延長約240kmの主要幹線道路です。平バイパスは、いわき市内の交通混雑や国道49号沿道の道路環境など、交通をとりまく環境の改善と常磐自動車道いわき中央ICへのアクセス機能強化を目的に、福島県いわき市常磐上矢田町～好間町北好間までのバイパスとして昭和56年度に事業着手し、平成7年9月に全線2車線で暫定供用しています。暫定供用以降は、交通混雑区間の4車線化や主要交差点の立体化等を段階的に整備し、平成24年度末の4車線整備率は、74%に達しました。

現在は、いわき市平上荒川～内郷御厩町までの区間(L=2.0km)の事業を促進し、平成28年度的全線4車線供用を目指しています。

●事業経緯

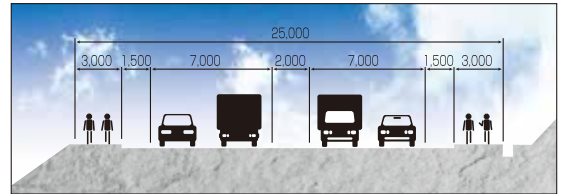
昭和47年度	調査着手
昭和56年度	事業着手(2・3工区)
昭和58年度	用地着手(2・3工区)
昭和59年度	工事着手(2・3工区)
昭和62年度	2車線暫定供用(2・3工区)
昭和62年度	事業着手(1工区)
平成元年度	用地・工事着手(1工区)
平成7年度	2車線暫定供用(1工区)
平成12年度	4車線供用(3工区)
平成12年度	番匠地交差点立体化完成(平成12年11月)
平成14年度	上矢田交差点立体化完成(平成14年12月)
平成22年度	4車線供用(1工区:常磐上矢田町～平上荒川 L=0.8km)
平成24年度	4車線供用(2工区)
平成28年度*	全線4車線供用予定

※1:供用予定年度については、事業進捗等により、変更になる場合があります。

●道路構造諸元

延長	7.7km
構造規格	3種1級(4車線)
設計速度	80km/h
曲線半径(最小)	400m
縦断勾配(最大)	4.0%

●標準横断面図



▲内郷御厩町の交通渋滞状況(H25.9)

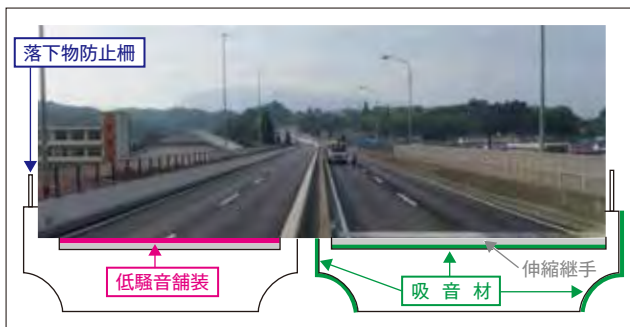
平バイパスの整備効果

■内郷高架橋の整備効果(平成24年度完成)

内郷高架橋は、国道6号、JR常磐線及び内郷市街地を通過する橋長569.4mの高架橋です。下り線側は、平成18年度に工事着手し、上り線側の耐震補強工事も実施しながら、平成25年2月に完成・供用しました。

通過する市街地に配慮した対策は、次のとおりです。

- 橋の路面は、雨水が浸透し、騒音の低減効果もある舗装を採用しています。
- 伸縮継手部には吸音材を設置して、伸縮継手部を車両が通過するときに発生する騒音を防いでいます。
- 全線に透過性の落下物防止柵を設置しています。



▲4車線供用した内郷高架橋

■事業効果(予測※2)

- 上矢田交差点～常磐自動車道いわき中央IC間の所要時間が25分(朝夕のピーク時)→約9分に短縮されます。
- 浜通り地方で唯一の第三次救急医療施設である総合磐城共立病院への速達性も向上します。

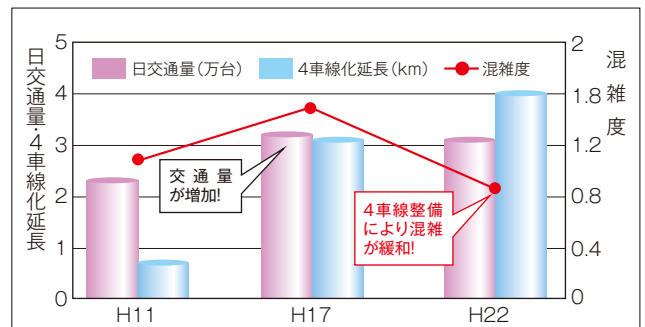
※2:平成25年度当初を現況とし、平成28年度全線4車線供用後の効果を予測したものです。

■4車線化整備事業(平成28年度全線供用予定)

平バイパスは、常磐バイパス(L=27.7km)が平成12年3月に全線暫定2車線で供用されると、いわき中央ICやいわき好間中核工業団地へのアクセス道路としての利便性が高くなり、主要な交差点では交通渋滞が発生しました。このため、交通渋滞の著しい区間から段階的に4車線化や立体交差点へ整備し、交通混雑の緩和を図っています。

4車線供用後の主な効果は、次のとおりです。

- 交通容量が増加することから、朝夕の交通渋滞が緩和します。
- 周辺道路の交通が平バイパスへ転換されることにより、市街地の交通混雑の緩和や沿道環境の改善が図られます。



▲内郷御厩町番匠地の交通状況の推移(各年の道路交通センサ結果)

